

2023年10月4日(水) 札幌バプテスト教会 祈禱会

本日の聖書箇所: **申命記32:7~18** (口語訳:旧約 294頁)

- 今日の聖書箇所の出だしてこのようにあります、「昔の日々を思い出し、代々の歳月を顧みよ。」と。これらの言葉は、異国エジプトで奴隷とされたイスラエルの人々が、神さまの憐みによってその嘆きの日々から救い出されたことを思い起こさせる言葉であります。同時に、私たちにも問いかけてくるみ言葉でもあります。神さまの恵みに出会わされたあの時・あの時期を思い出してみなさい・・・と。神さまの慈愛に心打たれ魂が踊り続けたあの時・・・十字架の赦しの深さに気づかされ、ただただ神さまのみにひざまずくしかなかったあの時・・・バプテスマを教会の皆で喜んで嬉し涙を流し合ったあの時・・・喜びが心からあふれ出て歓喜の讃美をささげずにいられなかったあの時・・・大なり・小なり、救いを経験したあの恵みの時を思い出してみなさい・・・と。
- 今日は7~14節をもう一度、ゆっくり読みたいと思います。神さまがくださった恵みの日々を顧みながら、神さまの言葉を味わいたいと思います(朗読されることに力点を置いている、聖書協会共同訳でお読みします)。
- 32:7 昔の日々を思い出し、代々の歳月を顧みよ。／あなたの父に問えば、答えてくれる。／長老たちも、あなたに話してくれる。32:8 いと高き方が相続地を諸国民に継がせ／人の子らを分けられたとき／イスラエルの人々の数に合わせて／それぞれの民の境を設けられた。32:9 主の取り分はその民。／ヤコブがその相続分である。32:10 主は荒れ野で、獣のほえる不毛の地で彼を見つけ／彼を抱き、いたわり／ご自分の瞳(ひとみ)のように守られた。32:11 鷲(わし)がその巢を揺り動かし／雛(ひな)の上を舞い／羽を広げて雛を取り／翼に乗せて運ぶように32:12 ただ主だけが彼を導き／異国の神は共にいなかった。32:13 主は彼を高い所に登らせ／野の実りを食べさせ／岩から蜜を吸わせ／硬い岩から油を得させた。32:14 牛の凝乳(ぎょうにゅう)と羊の乳を／小羊と雄羊の脂身(あぶらみ)と共に／バシヤンの雄牛と雄山羊を／最上の小麦と共に与えられた。／あなたはぶどうの果汁、泡立つ酒を飲んだ。
- 15節以降では、神さまの恵みを忘れてしまうイスラエルの人々が描かれていますが、それは私たちの姿でもあるのでしょうか。神さまが下さった恵みを一つ一つ顧みて、それを分かち、残りの一週間に出かけていければと思うのです。ここで携えたことを忘れずに一歩ずつ歩いていければと祈りつつ。

(西本詩生)

《祈りのリクエスト》

- | | |
|----------------------|---|
| ① 教会の伝道の働き・教会財政のために。 | ⑧ 弁当分かち合いプロジェクト(毎週金曜)。 |
| ② バプテスマ・入会準備中の方々。 | ⑨ 各神学校と神学生のため。 |
| ③ 入院／療養中／高齢で来られない方々。 | ⑩ 道内の教会(無牧師の苦小牧)、
ハワイ・オリベット教会[姉妹教会]のため。 |
| ④ 誕生日・バプテスマを迎えた方々。 | ⑪ 日本と世界の平和のため(ウクライナとロシア、
香港、ミャンマー)。被災地のため。 |
| ⑤ 主日礼拝(石橋大輔牧師) | ⑫ 困窮した生活を送っている人たち、孤独や
苦しみの中に置かれている人たちのため。 |
| ⑥ 「聖書を学び合う会」の活動のため。 | |
| ⑦ ひかり幼稚園の働きのため。 | |

《私の祈りのリクエスト》